

未来への遺産

徳島県 「千年サンゴ」



千年サンゴと熱帯魚

太平洋に面し、手つかずの大自然が残る徳島県南部。透明度が高い南阿波の海には、牟岐や穴喰などに絶好のダイビングポイントがあり、カラフルな熱帯魚やサンゴなど、多種多様な海洋生物を見ることができます。

中でも、牟岐大島の入り江には、高さ約9m、

外周約三十mを誇る「千年サンゴ」と呼ばれる世界最大級のハマサンゴが生息しています。

サンゴが1m成長するには百年かかると言われていますが、サンゴ分布の北限域に近いこの地域では海水温が低いため、成長は更に遅く、ここまでの大きさになるには千年はかかっていると考えられています。そのため、この貴重なハマサンゴは「千年サンゴ」の愛称で親しまれ、多くのダイバーを魅了する南阿波の宝物となっています。地元の人には、初心者でも安心して楽しめます。

近年は、サンゴの天敵・オニヒトデの大量発生が確認されるなど、サンゴを取り巻く環境の変化が問題となっていますが、地元の漁師や全

国のダイバーがボランティアでオニヒトデの駆除活動をするなどして、地域の宝である千年サンゴを守っています。

さらに、「牟岐町立貝の資料館・モラスコむぎ」には、千年サンゴのモニュメントが実物の二分の一の大き



南阿波の海

の大きさを海に潜らなくても気軽に感じることで、できるだけ多くの方々に親しまれています。

また、「千年サンゴ」を題材にした絵本「うみの木」が製作され、地元住民らでつくる「千年サンゴの森物語実行委員会」による読み聞かせ会も行われるなど、未来を担う子供たちにも千年サンゴの魅力が伝えられています。

お問い合わせ

徳島県商工労働部観光戦略局
観光企画課

TEL 〇八八―六二一―三三四〇

千年サンゴとダイバー

